受領　令和８年９月 28 日 21 時 02 分	通告番号 (15) 1/2

令和８年９月 28 日

読谷村議会
議長　比　嘉　幸　雄　　殿

読谷村議会議員
上　原　久美子　　印

一 般 質 問 通 告 書

第 555 回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第 61 条第２項の規定により通告いたします。

質　問　要　旨	答弁を求める者
１　認知症施策の推進について （１）月１回開催されている「よみたんオレンジカフェ」の現在の利用状況や参加者の声、ならびに課題について （２）早期診断・早期対応につなげるための「認知症初期集中支援チーム」の設置・活動状況について。 （３）認知症への理解を深める「認知症サポーター」の養成状況と今後の取り組みについて。 （４）身近な地域コミュニティの拠点である「各字の公民館」との連携（公民館での出前講座や居場所づくり、見守り体制の強化など）について、村としてどのように取り組んでいるのか？	
２　高齢者・聴覚障がい者等へのバリアフリー支援について（役場窓口への「骨伝導イヤホン」導入の提案） （１）近年、多くの自治体窓口におきまして、鼓膜ではなく頭骨の振動で音を伝える「骨伝導イヤホン（集音器）」を窓口に設置し、スムーズでプライバシーに配慮した会話を可能にする取組が広がっています。本村におきましても、高齢者や聴覚に不自由を感じている村民が安心して窓口で相談・手続きを行えるよう、役場の主要な受付窓口への「骨伝導イヤホン」の導入を検討できないか、見解を伺います。	

質　問　要　旨	答弁を求める者
3　予防医療・健康増進の拡充について （1）村における現在のがん検診の受診状況と受診率向上に向けた周知・啓発活動の取組状況について （2）前立腺がんや、すい臓がんといった検診種目の追加や、無料クーポン・公的補助の対象拡大について、村としてどのように捉え、今後検討を進めていく予定があるか？	
4　現役世代・女性の就労支援について（デジタル人材育成事業の推進） （1）女性や現役世代がパソコンスキルやITスキルを身につけ、自律的なキャリア形成や収入向上を図れるような「女性向けＩＴ・デジタル講座」の開講や就労支援の導入について、村としてどのように考え、今後の実施に向け検討を進めて欲しい。	
5　防犯対策の強化について （1）昨年度および今年度の防犯灯の新たな設置件数の実績について （2）自動販売機事業者や民間企業と連携し、設置費用や電気代・維持費用の一部または全部を企業側に負担してもらう形での防犯カメラ設置手法について、読谷村でも導入を検討できないか？	